

ATR会場での展示：10/26（木）・27（金）

「OPEN ATR, OPEN KEIHANNA」をテーマに、外部連携の推進を通じてATRグループとけいはんな学研都市の未来を切り拓く取り組みをご紹介します。

脳情報科学、ライフ・サポートロボット、無線通信、生命科学に関する最先端の研究成果とともに、関連事業会社による成果展開、「けいはんなATRファンド」のベンチャー支援、けいはんなイノベーションハブの構築、他企業との協働による農の事業開発など拡がりをもせる事業化活動について、講演、デモンストレーションおよびパネル展示によりご覧いただきます。

<http://www.atr.jp/expo/index.html>

●事前内覧会でご覧いただく内容をご紹介します。

1. OPEN ATR, OPEN KEIHANNA (11:45~11:47)

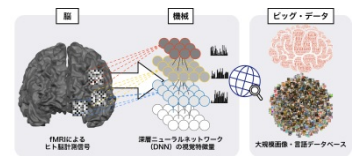
今年のテーマを紹介します。

2. ベンチャー企業 (11:47~11:50) ～けいはんなATRファンド～

2015年創設の「けいはんなATRファンド」を用いて設立・支援されるベンチャー企業等が推進する研究成果の事業化を紹介します。

3. 脳情報デコーディング (11:50~12:00) ～脳を介した情報通信の実現を目指して～

脳情報デコーディング技術と深層ニューラルネットワークを組み合わせ、被験者が実際に見ている物体だけでなく、想像や夢の中に現われた任意の物体の情報を脳活動から読み出す最新の技術を紹介します。



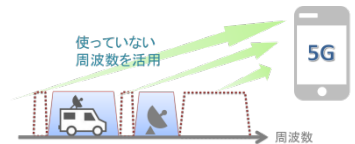
4. スマートネットワークロボットによる接客とサイネージサービス (12:00~12:10) ～日常環境で、店員がロボットサービスをプログラミングできる仕組みの実現～

ロボットが社会常識を身につけ人通りの多い店舗でも人間と同様の接客ができるようにすることを目指して人工知能技術を用いて開発した、店員がロボットに直接教える「見よう見まね技術」を紹介します。



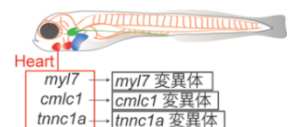
5. 5Gに向けた周波数資源発見技術 (12:10~12:20) ～使っていない周波数をお借りします～

第5世代移動通信システムにおける周波数を活用する技術として、周波数利用状況推定の高度化、既存無線システムとの動的な共用条件の決定法、5Gでの周波数共用フレームワークの研究開発を紹介します。



6. 器官形成時における循環器系の役割の全容解明 (12:20~12:30)

ゼブラフィッシュという脊椎動物モデルを用いて、それぞれの器官が形成されてくる時期に、循環器系（心臓と血管）がどのような役割を担っているかの「全容」を明らかにした研究成果を紹介します。



7. 英語カラオケ技術の事業化 (12:30~12:40) ～カラオケで歌いながら、英語の学習をしよう～

ATRの音声言語学習機構の研究成果による英語学習システム「ATR CALL」で使われている発音評定技術を応用し、音程に加え歌詞のタイミングや発音の評価も行う英語カラオケ技術を紹介します。



(ATR-Incubator※プロジェクト第2号)

※ATR研究成果のシードステージの事業化支援を実施